

新県立中央図書館業務システム構築の流れ

令和3年度

業務システム基本構想

R5年度からのシステム基本設計における設計項目、スケジュールなど大筋を決定

<成果>

- ・現システムの課題抽出
- ・新システムのニーズ整理
- ・設計項目の設定
- ・整備、導入準備計画立案
- ・導入スケジュール立案
- ・必要経費の試算
- ・開館時点を想定した図書館DXの検討

図書館DX有識者会議

研究者等による長期的視点で、最新IT技術動向も考慮した将来の技術予測を踏まえ、DXの方向性について検討

<成果>

- ・図書館DXの**長期的な方向性を決定**

反映

反映

設計の骨子

反映

図書館整備計画

令和5～6年度

業務システム設計

- ・基本構想に基づき、業務システムを設計
- ・基本設計の中間検査、成果物検査時にも、有識者会議におけるDXの方向性と照合し、確認

開発

令和8～9年度

業務システム導入準備・仮運用

- ・ICタグ貼り付けなど、開館に向けたシステム導入準備
- ・開館前の試運転など仮運用を開始

業務システム運用開始

- ・仮運用結果をもとにシステム修正、開館と同時に稼働

令和10年度以降～22世紀

継続的な業務システム改修、バージョンアップ

- ・IT技術の進化を受け、最新技術を活用した業務システム強化（超長期にわたり定期的なチェック、検討、見直し）

有識者会議で定めた方針を柱に、最新技術動向を注視しつつ、検討・反映